

治験管理センターだより

第31号 島根大学医学部附属病院治験管理センター発行（2012.5）

～熊谷雄治先生をお迎えして～ 治験特別講演会を 開催しました



去る3月22日（木）臨床講義棟 小講堂において、北里大学東病院治験管理センター長 熊谷 雄治先生をお招きして特別講演会を開催しました。熊谷先生には、昨年の講演会に来ていただく予定でしたが、東日本大震災の影響でやむなく開催できず、再度お願いして、ようやく今年おいでいただけるはこびになりました。今回は、『わが国における臨床試験の展開』と題して、日本の治験の現状が、「ガラパゴス化」していること、欧米に比べて品質が高いものの、スピードがまだまだ追いつかず、コスト増につながっていることを踏まえ、日本が今後世界の治験の中で果たす役割は、早期段階国際共同治験での実績を積み重ね、大規模検証試験におけるイニシアチブを発揮することにあるとご講演いただきました。たくさんの方々にご参加いただき、治験啓発の良い機会になりました。ありがとうございました。

治験の活性化にご協力くださった先生方が 病院長表彰を受けられました

平成23年度病院長表彰授賞式において、「治験の活性化に顕著な功績をあげられた方」で、内科学第三の小黒浩明先生と、内科学第一の山本昌弘先生が受賞されました。先生方からコメントをいただきました。

この3月に小林祥泰病院長から「治験活性化への貢献」の評価で病院長表彰をいただきました。治験管理センター、薬剤部、内科学第三の全スタッフ、言語聴覚室で登録調整をされている黒田さん、原さん、皆さんの日頃の努力の賜物でした。皆様本当に有難うございました。これからも「プロトコール遵守、患者様への貢献と安全配慮」を第一に、治験推進にさらに努力します。



小黒 浩明 先生

山本 昌弘 先生

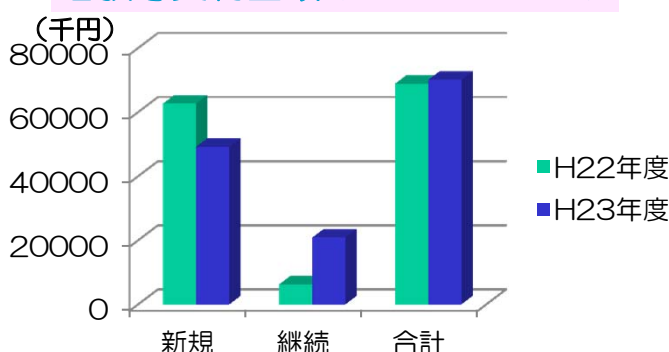
治験薬治療は、少なくとも3年は先行して先進的な医療を享受しうる機会に恵まれるものです。治験管理センターの皆様のご助力を得て、大学病院受診者である島根県の患者さんに、多くの先進的医療を受ける機会を提供できたことを嬉しく思います。

H23年度 治験実施状況のご報告

23年度の治験等（製造販売後調査を含む）における契約状況がまとめられました。治験特別講演会でご報告しましたとおり、23年度は、製造販売後調査を含む契約金額、症例数が前年度を上回りました。

また、治験契約件数も、前年度に比べて大きく伸びています。前年度からの継続件数が多くあったことに加え、新規治験が次々と入りました。各診療科において新規治験を積極的に受け入れていただいたおかげでした。本当にありがとうございました。今後ともひきつづきよろしく願いいたします。

治験等契約金額（製造販売後調査を含む）



治験契約件数（医療機器を含む）

